

第3回 県内技術研究発表会（平成20年1月25日）

	論文題名	所 属	氏 名	
1	平成19年8月隠岐豪雨災害における 道路の被災状況と今後の整備方針について (速報版)	道路建設課	主任 行武宗軌 主任 村川威臣	
2	柿原ため池改修工事における 堤体クラウド設計・施工事例について	松江県土整備事務所	主任 桐木俊介	
3	国道485号長沢トンネルにおける 新技術の導入	益田県土整備事務所	主任 三原康一	
4	津和野の交通特性について	益田県土整備事務所 津和野土木事業所	主任 日野真樹	○
5	松江第五大橋道路鋼橋の鋼材選定について	高規格道路事務所	主任 野村和広	
6	快適な道路環境のための小さな取り組み 維持管理部門における新技術・新工法等の実践	松江県土整備事務所	主幹 佐川竜朗	○
7	1.5車線の改良について 海潮穴道線での事例報告	松江県土整備事務所	主幹 布村 隆	☆
8	島根県隠岐管内における 治山施設点検結果に基づく コンクリート構造物のひび割れに関する考察	隠岐支庁農林局	企画幹 江角 淳	
9	高速道路推進課 ホームページリニューアル大作戦	高速道路推進課	主任技師 今川 文	
10	松江第五大橋道路における地元設計協議と 沿道対策について	高規格道路事務所	主任 高橋謙一	○
11	「しまねの農業農村整備すごろく」を使った 農業農村整備の広報	農村整備課	主任 堀尾俊弘	☆

○…優秀賞

☆…聴講賞

平成19年度 県内技術研究発表会 日程表及び発表者論文の概要

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 開会 | 9:20 |
| 2. 挨拶 | 9:20～ |
| 3. 発表会における留意事項等 | 9:25～ |
| 4. 研究発表会 | 9:30～ |

一般部門	
1 9:30～	<p>【H19年8月隠岐豪雨災害における道路の被災状況と今後の整備方針について(速報版)】 道路建設課 主任 行武 宗軌、主任 村川 威臣</p> <p>H19年8月30日からの隠岐島における集中豪雨では、最大時間雨量131mm/hrという記録的な降雨も生じ、多くの公共土木施設が被災した。道路施設においても法面崩壊や路肩決壊が生じ、孤立集落も発生するなど、甚大な被害を受けた。 本論文は、その被災状況を報告するとともに、それを分析することによって、今後の道路整備のあり方を検討するものである。</p>
2 9:55～	<p>【柿原ため池改修工事における堤体グラウト設計・施工事例について】 松江県土整備事務所 主任 桐木 俊介</p> <p>はじめに、松江西市西谷町にある県内最大の農業ため池施設の改修工事を平成18年度から実施した。この工事のうち、堤体の漏水対策としてグラウト工を施工し、今年の6月に完了した。 堤体のグラウト工で特に、堤体盛土部(築堤部)の施工は、土質条件や漏水状況等により、設計の考え方や注入材料及び施工工法等は変わる。さらに、参考となる文献も少なく、現場におけるトラブルには、その時々判断により対応することがほとんどである。 そこで、今後の参考として、当ため池で施工した堤体グラウト工事において設計・施工に苦慮した事項を一例として紹介する。</p>
3 10:20～	<p>【国道488号長沢トンネルにおける新技術の導入】 益田県土整備事務所 主任 三原 康一</p> <p>H18年度から施工中の国道488号(仮称)長沢1号トンネルにおいて、覆工コンクリートの品質向上を目的とした「温度制御噴霧式覆工コンクリート湿潤養生システム」を国内で初めて導入した。このシステムの概要についての説明と、その効果に関する中間報告を行う。</p>
4 10:45～	<p>【津和野の交通特性について】 益田県土整備事務所 津和野土木事業所 主任 日野 真樹</p> <p>津和野の道路交通の現状や問題点を把握するために、道路交通センサスのデータ等を用いて解析を行なった結果、見えてきた交通特性とは・・・。</p>
5 11:10～	<p>【松江第五大橋道路鋼橋の鋼材選定について】 高規格道路事務所 主任 野村 和広</p> <p>松江第五大橋道路朝酌川橋梁は、1級河川朝酌川を横架する橋長237.5mの鋼5径間連続少数鉸桁橋である。鋼橋の鋼材選定は、従来、離岸距離や飛来塩分量の評価で行っていたが、この度、上記に加え、鋼材腐食量予測により選定を行った為、その内容について報告する。また、今後の鋼橋鋼材選定の注意点についてもあわせて報告する。</p>
6 11:35～	<p>【快適な道路環境のための小さな取り組み -Small action for road amenity- 維持管理部門における新技術・新工法等の実践】 松江県土整備事務所 主幹 佐川 竜朗</p> <p>生活レベルが向上すれば道路にも機能だけでなく快適な環境整備が求められる。 道路の維持管理部門において、新工法・新技術を用いた実践事例について発表し、今後の維持管理の一助としたい。</p>

12:00～	昼食・休憩
7 13:00～	<p>【1.5車線の改良について(海潮宍道線での事例報告)】 松江県土整備事務所 主幹 布村 隆</p> <p>県財政が厳しいなか、公共事業費のコスト縮減を行うため、本県においても、1.5車線の改良による道路改良を実施することになった。 当事務所では、海潮宍道線の上来待工区において、はじめて1.5車線の改良を導入し、道路改良を行うことになった。 本工区が、今年度で完了することから、現場での事例を用い、具体的な組み状況と事業効果の検証について、報告を行うものである。</p>
8 13:25～	<p>【島根県隠岐管内における治山施設点検結果に基づくコンクリート構造物のひび割れに関する考察】 隠岐支庁農林局 企画幹 江角 淳</p> <p>平成18年度に島根県隠岐管内において、59箇所の治山施設について「治山施設点検」を実施した結果、昭和50年代に施工した治山施設にアルカリ骨材反応等によるクラックを数地区確認した。隠岐管内には1941年より2006年までの期間に587箇所の治山施設が施工されており、劣化原因の究明や劣化防止措置、施設の長寿命化等の予防保全対策を実施し、施設毎の機能を持続的かつ最大限に発揮させるため治山施設ストックマネジメントシステムの整備が緊急の課題であると確認された。今回、その点検結果を報告するとともに、点検によって確認されたコンクリート構造物のひび割れについて、その原因と対策の概要を紹介するとともにコンクリート構造物のストックマネジメントを推進する観点から、コンクリート構造物の維持管理に関する体制整備の必要性について提案する。</p>
アカンタービリティ部門	
9 13:50～	<p>【高速道路推進課ホームページリニューアル大作戦】 高速道路推進課 主任技師 今川 文</p> <p>島根県のホームページリニューアルにもとづく、高速道路推進課のホームページのリニューアルについて。 県民により分かりやすいホームページにするための取り組みについて。</p>
10 14:15～	<p>【松江第五大橋道路における地元設計協議と沿道対策について】 高規格道路事務所 主任 高橋 謙一</p> <p>松江第五大橋道路本線の橋北部は、橋梁・高架・盛土・切土・トンネルと多様な道路構造形式により道路設計(自専道指定)がなされている。このうち、西尾IC周辺は農業耕作を中心とする古くからの集落があり土着性が強いが、中心市街地も近く市街化が及んできている。このため、本線及びICアクセス道路を計画するにあたっては、将来の土地利用に対する地元の想いも強く実施設計協議には多くの時間を費やしたが、種々の沿道対策と関連事業の連携により地元協議をまとめることができたので、その手法を紹介する。</p>
11 14:40～	<p>【「しまねの農業農村整備すごろく」を使った農業農村整備の広報】 農村整備課 主任 堀尾 俊弘</p> <p>島根県農林水産部では、農林水産行政における広報の重要性に鑑み、平成17年5月に「農林水産部広報指針」を策定したところである。また、近年では技術系公務員の間でも、広報技術に関する研修が設定されるなど、広報に対する重要性が認識されるようになってきている。 農村整備課・農地整備課では、これまでも現場見学会や「しまねの農村景観フォトコンテスト」などの住民参加型の広報活動を中心として、数多くの広報活動に取り組んできているが、本論文では、平成19年3月に制作した「しまねの農業農村整備すごろく」を使って農村整備課が戦略的に行っている広報の事例を紹介し、今後の技術系公務員が行う広報の参考となるよう、広報に対する考え方及び今後の展開方向について述べる。</p>

- | | |
|------------------|--------|
| 5. 意見情報交換(講演・未定) | 15:05～ |
| 6. 講評及び表彰 | 16:00～ |
| 7. 閉会 | 16:30 |